

創刊のごあいさつ

前羽地区まちづくり委員会委員長
志澤政勝



前羽地区まちづくり委員会は平成26年度に前羽団体長連絡協議会を改組、改称したものです。その目的は、住みよいまちづくり実現のため、各種組織、団体と住民が連携して地域の課題を解決に向けて共同作業を進めていこうというものです。主な活動は、車坂花壇の維持管理と青少年健全育成協議会との共催による海岸クリーン作戦（海岸清掃）、ほかに防災、環境美化、高齢者対策の3つの分科会活動などです。

分科会は昨年度から具体的に活動を始めました。防災は災害時の避難のための高齢者マッ

プ作成、環境美化はゴミステーションの改善、高齢化対策はラジオ体操およびバス減便問題を取り上げました。これらを踏まえて、今年度の部会（分科会を改称）テーマは防災「高齢者の避難計画」、高齢化対策「高齢者の移動支援問題」とし、環境美化は当面の課題がないため休会としました。

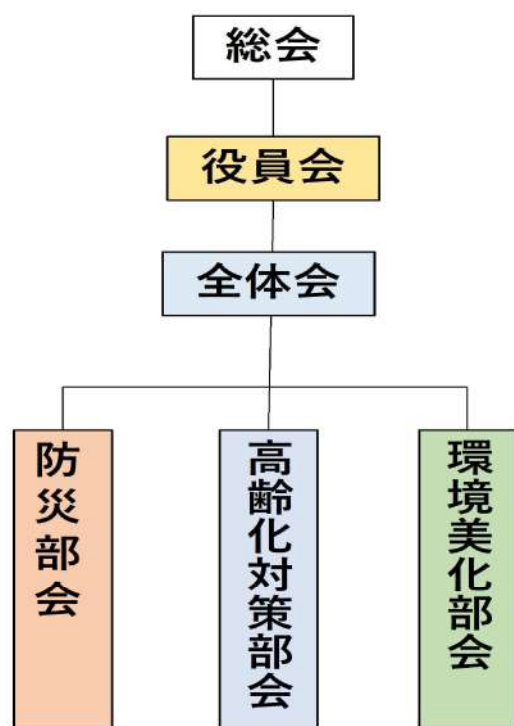
さて、当委員会活動につきまして、これまで地域の皆さんに発信してこなかったためまちづくり委員会は何をやっているのか、というご意見を聞くことがあります。もとより、地域課題の解決は当委員会だけでできるもの

ではなく、行政（小田原市担当部署）と地域の皆さんの協力が欠かせません。その第一歩として、当委員会の活動をお知らせし皆さんのご意見をお聞きする方法のひとつとして年に2回ほど広報紙を出すことにしました。

前羽地区は小田原市のなかでも高齢化率が高く、商業施設はきわめて少なく、移動交通手段の質の低下も進んでいます。こうした現実を認識し、より暮らしやすい地域になるように微力ながら活動していきたいと思えます。地域の皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。

前羽地区まちづくり委員会について

【組織図】



【役員】

- ・委員長 志澤政勝 前羽地区自治会連合会長、向原自治会長
- ・副委員長 石塚美彦 前羽社会福祉協議会会長
- ・副委員長 石塚金蔵 前羽地区自治会連合副会長、町屋自治会長
- ・会計 細川初恵 小田原市赤十字奉仕団前羽分団長
- ・監査 杉山栄一 前羽長楽会会長
- ・監査 峯尾平治 押切自治会長



【委員】

前羽自治会連合会	前羽社会福祉協議会
前羽体育振興会	前羽地区民生委員・児童委員協議会
橋商工会	前羽長楽会
前羽青少年健全育成協議会	小田原市赤十字奉仕団前羽分団
前羽ボランティアグループ	小田原市消防団第22分団
前羽小学校PTA	橋中学校PTA
子ども会	前羽小学校
地域包括支援センターたちばな	地域住民

車坂花壇の管理

・国道1号線の前羽派出所近くの山側斜面の「史跡 車坂」にある車坂花壇の管理を行っています。まちづくり委員会の委員とボランティアを3グループに分け、毎月第1土曜日午前8時30分から作業をしています。

・作業予定＝4月花撤去、5月マリーゴールド、ペコニア植付け・施肥、6～7月雑草取り、8月花撤去、9月土壌追加、10月パンジー類植付け・施肥、11月～3月雑草取り、水やり。

・今年は暑い日が続いて花が枯れたため8月に撤去しました。10月下旬に花の植え付けを行う予定です。



ペコニアとマリーゴールド
(車坂花壇)

前羽海岸クリーン作戦

・7月17日(月)海の日に午前7時から8時まで、第28回前羽海岸クリーン作戦を前羽青少年健全育成協議会との共同主催で実施しました。子どもから高齢者まで432名が参加して地域の大切な海岸の清掃を行いました。



西湘バイパスの高架下を清掃する

☆活動に対する皆さまのご意見、参加をお待ちしています。

部会活動 (旧分科会)

令和4年2月、委員対象に前羽地区の現状の問題点把握のアンケートを行い、その結果、防災、高齢化対策、環境美化の3分科会設置が決まりました。令和4年度から各分科会15名ほどのメンバーで年4回(8、9、11、1月)開催し、全体会(10、3月)で報告しました。今年度から分科会を部会に改称しました。

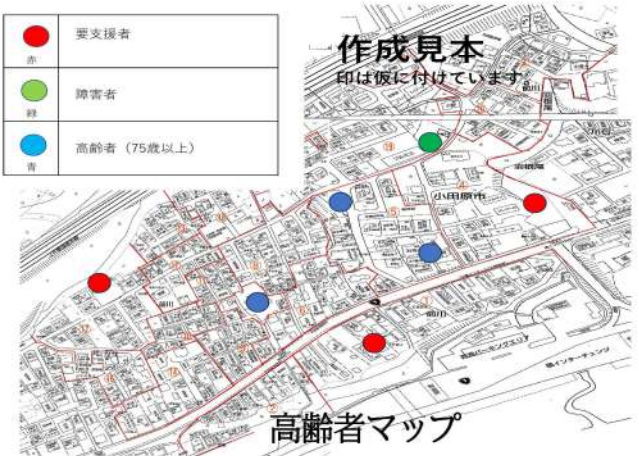


防災部会

- ◆**令和4年度** 採り上げた項目は①避難の仕方(夜間、高齢者、ルート、手段等)、②橘中学校の避難所として位置づけ、③消防団の役割、④高齢者マップの作成。後半は、避難支援を必要とする高齢者を確認するため高齢者マップを民生委員、ボランティアグループなどの協力を得て自治会ごとに作成しました。
- ◆**令和5年度** 「高齢者の避難」をテーマに行います。支援マップの見直しおよび、75歳以上と要支援者に対して、災害時支援の必要の確認アンケートを実施する予定です。

●	要支援者
●	障害者
●	高齢者(75歳以上)

作成見本
印は仮に付けています



高齢者マップ

高齢化対策部会

◆**令和4年度** 高齢者の実態をデータで確認(前羽人口3,149人、高齢化率39.9%、単身世帯率39.8%、77歳以上493人)後、以下のような取り組みをしました。①地域包括支援センターたちばなの提案によるラジオ体操の導入を検討し、向原自治会は12月から毎週火曜日、西自治会は令和5年度5月から実施予定 ②生活支援のあゆみの会等の見守り活動の現状把握 ③前羽長楽会からの市老連退会等の現状と課題の報告 ④生活に不便をもたらしている路線バス減便について、向原、町屋自治会で困っている現状のアンケート調査を実施。また、バス減便問題は2月の「前羽地区 市民と市長との地域活動懇談会」で重要課題としてアンケートに基づき改善を要請しました。

◆**令和5年度** バス減便対策を「高齢者の移動手段問題」として重点的に採り上げます。8月、9月に移動支援について小田原市のまちづくり交通課と意見交換を行いました。そして、実証事業として、令和5年年11月～令和6年3月にバスの無い時間帯で相乗りタクシーの運行、75歳以上の無免許の方にタクシー・路線バス共通助成券が配布されることとなりました。(詳細は、別途の回覧資料等参照願います。)

○ラジオ体操

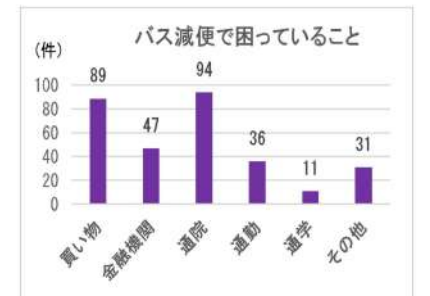
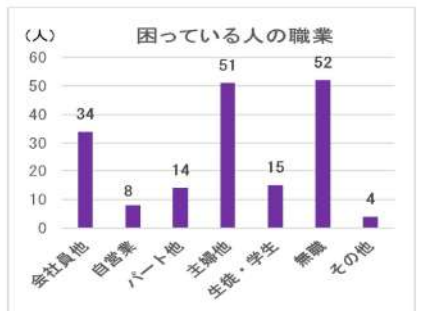
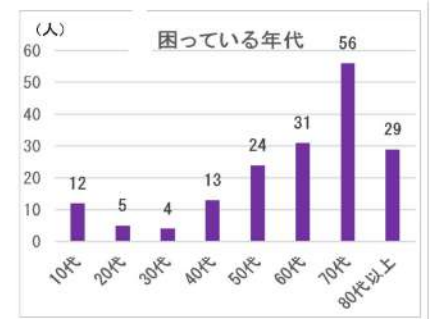
- ・西自治会：令和5年5月からラジオ体操開始。毎週月曜日、20名程参加されています。
- ・向原自治会：定例の火曜日のほか、子供会の協力で夏休みこどもラジオ体操(7月21日～25日、8月2日～26日)を実施しました。



西自治会の体操風景

○**バス減便アンケート結果**(調査期間：令和4年12月～12月24日、385世帯対象、回収数193枚/有効数178枚、回収率50%)

- ・バス減便で困っている年代は70代が飛びぬけて多く、これに80台以上と60代の半数ほどを加えると回答者の58%を占める。
- ・一番困っているのは高齢者といえるが、残りの42%を占める10代から60代(半数)の生徒・学生、働いている人も困っている。
- ・バス減便で最も困っていることは、通院と買い物である。年代では70、80代以上が大半を占める。次いで金融機関と通勤。



環境美化部会

- ◆**令和4年度** ごみ問題に絞って取り組みました。自治会ごとの実態調査にもとづいて現状の改善を行いました。①西自治会=ごみステーションで不法投棄が多発。カゴ式設置(令和5年2月) ②向原自治会=住宅増加にともないごみが増えたごみステーションでは、拡張するスペースがないため、ファスナー付きゴミネットを購入し設置しました。③町屋自治会=国道沿いのごみステーションを1か所移設し、他に1か所新設しました。④押切自治会=カラス対策として生ゴミは新聞紙に包んで出すようにしました。

◆**令和5年度** 標語サインの更新などの意見もありましたが、当面の課題がなく、防災部会と高齢化対策部会の活動に注力するため、今年度は休止としました。



①西自治会(カゴ式に変更)



③町屋自治会(カゴ式にして歩道から移設)



②向原自治会(ファスナー付きゴミネット)



④押切自治会(カラス対策で生ゴミを新聞紙で包んでゴミ出し)